

製作依頼書

マシンショップコード (No.)

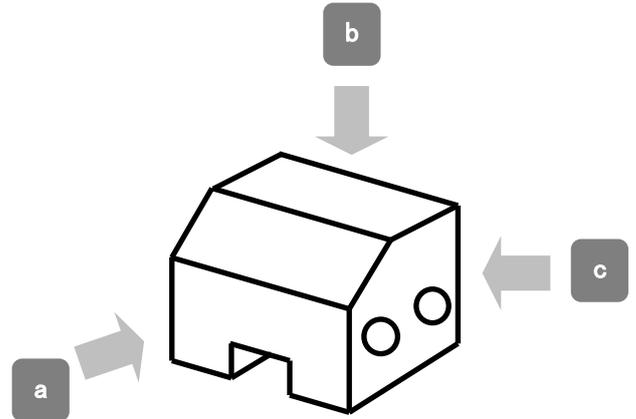
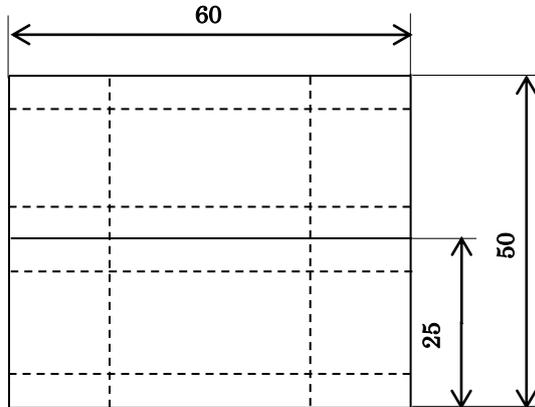
依頼者	部門名				教員名 (要押印)				内線						
					印										
	担当者名				担当者連絡先										
期日	申込日				希望納期										
	令和 年 月 日				令和 年 月 日										
材料	依頼者持込				マシンショップ支給										
	有 ・ 無				有 ・ 無										
依頼品名 (必須)															
受付者	齋藤・鈴木・川島・金井														
/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	合計 (h)
【設計図 (裏面参照) : 別紙可】															
尺度 /															
工作費	円				材料費	円				その他	円				
合計	円				損失時間	時間				分					
完成日	令和 年 月 日				工作者	齋藤・鈴木・川島・金井									
納品日	令和 年 月 日				受領印 or サイン										
備考欄															

注) 依頼品の写真を内部報告・外部発表等で使用することについてご承諾下さい。
プロジェクトや特許等に係るもので内・外部の発表に使用できないものに関しては依頼相談時にお申し出下さい。

製図の描き方（見本）

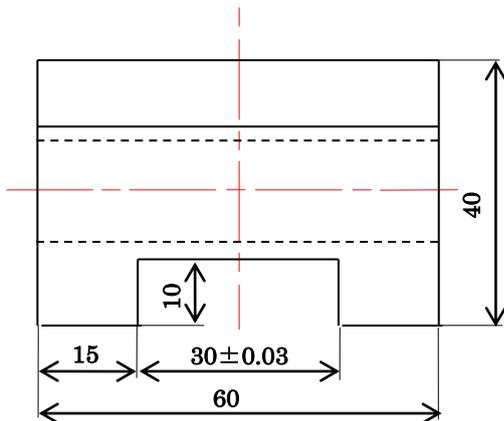
- ◆ JIS 機械製図（第三角法）に準じて設計図を描いて下さい。
描き方が解らない場合は、下記の製図例とポイントを参考にして下さい。

〔製図例〕

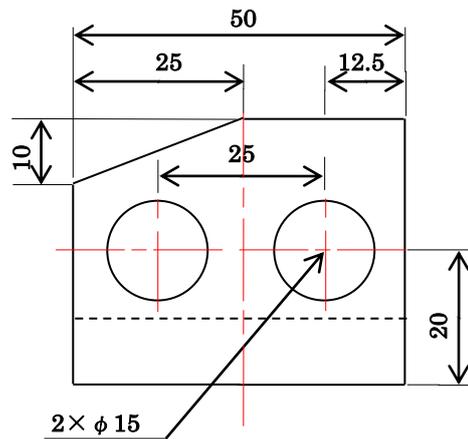


※ この場合二面のみで形状の情報が読み取れるので、平面図は不要です。
また、形状が分かる a 側を正面図にしています。

b. 平面図



a. 正面図



c. 右側面図

単位：mm

〔ポイント〕

1. **定規を使用して描くことを推奨します。** ただし、製品の形状・構造が理解できる範囲でフリーハンド可。製品が複雑なものや細かいもので図面が見にくくなる場合は定規を使って描いて下さい。
2. 第三角法で製図する場合、正面図・平面図（上面図）・左側面図・右側面図・下面図・背面図の六方向から製品を見たときの図があります。**一般には正面図・平面図・右側面図の三方向から見た図（三面図）を描きます。** ただし、製品の形状が分かるのであれば、二面図あるいは一面図でも構いません。必ずしも三面図にする必要はありません。
3. 実線と隠れ線を区別して下さい。製品の可視部は実線を使用し、製品の不可視部の溝・段・穴などは隠れ線（破線）を使用して下さい。
4. 可能な限り隠れ線の数を減らして描いて下さい。製品の形状など多くの情報が読み取れる方向を正面図にして下さい。
例) 自動車：フロント方向ではなく側面を正面図に置きます。
5. 基準点（原点）を作って寸法を記載するのではなく、中心線を引いて寸法を記載して下さい。
6. 穴の位置の寸法は、中心からとるようにして下さい。また、ねじ穴はφ記号ではなく、M 記号を数値の前に付けて下さい。
7. 依頼製品あるいは既製品で、複数ものを組立する場合は、公差を記入して下さい。公差が解らない場合は、雌側・雄側の正確な寸法、あるいはどちらを大きく・小さくするかなどの情報をお伝え下さい。**また、持ち運び可能な既製品がある場合は依頼相談時に持参して頂けると円滑に助言・相談をすることができます。**